

海と森で学外実習

理工学部生物科学科



動物コース

動物コースの「動物学実習」は8月30日から9月1日まで仙台市太白区秋保町の「木の家」周辺で行われ、3年次生15人が参加した。

森林と名取川の水辺で昆虫を採集し、生理・生態学的特性の計測や分類を行った。悪天候のためフィールドワークには適さないあいにくの条件だが、採集した川の水を観察する学生たち



調査のための海水を採取する学生たち

海洋生物コース

理工学部生物科学科の3年次生が野外に出て生物採集や観察・観測に取り組む学外実習が、夏期休暇を利用して実施された。

海洋生物コースの「海」は、宿泊先である狐崎浜洋生物学実習」は8月28日漁村センター周辺の海岸から30日まで牡鹿半島で、プランクトンの生物の石巻市狐崎浜で行われ、調査を体験したほか、漁3年次生27人が参加し

船をチャーターし、洋上で海洋環境計測の基本を実習。また、センター内では、観測データを分析し、環境要因とプランクトン分布構造の関係について、グループ討論と発表会を実施した。

茂庭和喜さん(3年次・宮城県石巻市西高)は海洋浮遊生物学を学ぶ太田

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/>

石巻専修大学
広報係

☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

本 年 4 月、
創 立 3 0 年 を
迎 え ま し た

2018 石鳳祭

10.13(土)
14(日)

が分かった」。卒業研究はクラゲを取り上げる予定で「実習で経験した塩分や酸素濃度など環境因子の測り方を生かしたい」と話した。

高大産連携プロジェクト

庄子ゼミと石巻高生 芸術祭の魅力発信へ

新たな高大産連携プロジェクト「リポーンアート(RAF)」に向け、地

石巻川開きまつり

526人地域盛り上げる



力自慢が出場し初優勝＝大縄引き



息を合わせて舟をこぐ学生＝孫兵衛船競漕

研究室探訪

教職を志す学生を育てる

人間学部人間教育学科

横江信一 特任教授

石巻市や近隣の小学校での38年間の教員生活を経て、今年4月から石巻専大に。研究テーマは「学級経営を通じた学級文化の形成による望ましい人間関係づくり」で、多くの学生にこれまでの経験を伝えるとともに、教職を志す学生を育てたいと考えている。

担当する「保育・教職実践演習(幼・小)」、「初等教育実習事前事後指導」では、主体的、対話的

講義する横江特任教授



学生には課題解決を図る創造的な思考力とともに、多様な価値観や個性を受け入れ、他者と質の高い関わり方ができる能力を身につけてほしい。

千葉さんは「ユーザーのことを考え、ブロックの配色など見やすさを意識した。指摘していた点の改善し、よいアプリにしたい。今回学んだ知識を生かし、新しいアプリの制作にも挑戦したい」と話した。

学生スマホアプリコンテスト 経営・舛井ゼミ 奨励賞



アプリの概要を発表する千葉さん

元の高校生と大学生が担い手となってイベントを盛り上げる方法を検討している。

RAFは、石巻中心市街地と牡鹿半島を舞台にアート、音楽、食を楽しむ総合芸術祭。17年に初開催され、51日間で延べ26万人が訪れた。

庄子ゼミは「観光まちづくり」が研究テーマ。プロジェクト代表を務める石山竜汰さん(4年次・宮城県石巻市北高)は「高校生の斬新なアイデアを取り入れながら必要

翔汰さん(4年次・宮城県東北高)は「現地を見て、インターネットだけでは分からない魅力に触れることができた」、木村春輝さん(2年次・宮城県松島高)は「市街地からの移動情報を充実させたい」と話した。

千葉さんは「ユーザーのことを考え、ブロックの配色など見やすさを意識した。指摘していた点の改善し、よいアプリにしたい。今回学んだ知識を生かし、新しいアプリの制作にも挑戦したい」と話した。